

令和7年10月31日 発行 第100号

※本表に掲載して掲載（記載）しない項目は、本表に掲載しない項目です。詳しくは、本表の「本表の掲載項目について」をご覧ください。



協賛：京浜急行電鉄株式会社
協力：公益財団法人 横浜市観光協会
お問い合わせ：釣りフェス運営事務局 E-mail: info@tsurifest.com

目次

釣りフェス

Fishing Fest. 2026 in YOKOHAMA

釣りフェス2026 出展社説明会& 小間割抽選会開催

JAF実行委員会（委員長：荒井一郎）では、10月2日(木)、オンラインにて「釣りフェス2026 出展社説明会&小間割抽選会」を開催いたしました。当日は、159社・173名の出展企業・団体の皆様にご参加いただきました。

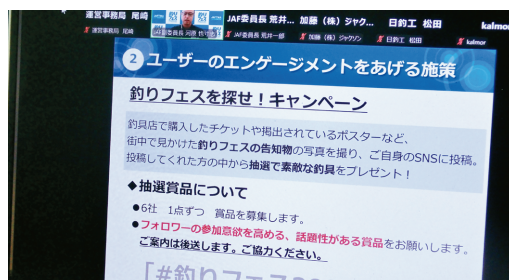
開会にあたり、荒井委員長よりご挨拶をいただき、その後「釣りフェス2026」の開催概要や実施企画について説明を行いました。続いて、河原副委員長より広報施策の紹介と、出展社の皆様への協力依頼があり、さらに運営事務局からは、WEB管理システムによるオンライン申請の導入をはじめとする出展要項の詳細についてご案内いたしました。閉会に際しては、塩澤副委員長よりご挨拶をいただき、説明会は盛況のうちに終了しました。

続く小間割抽選会では、オンライン方式によるスムーズな進行のもと、出展社各社の小間位置が決定しました。本年度2年目となるオンライン抽選会は、より安定した運営を実現し、出展社の皆様からご好評をいただきました。

これをもって、釣りフェス2026はいよいよ本番に向けて本格的な準備段階へと突入いたします。

引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

①出展社説明会&小間割抽選会風景



②会場小間割図面



③釣りフェス2026バナー HPにぜひご掲載ください。

LOVE BLUE委員会からのお知らせ

LOVE BLUE プロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、(7月から9月)では3県で12日間実施。

(2025年度累計: 1道12県70日実施)

2025年度も引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施して参ります。

7月～9月までの実績

期 間	実施日数	実 施 場 所
7/6～7/8	3日間	和歌山県海南市 戸坂漁港
7/11～7/13	3日間	三重県志摩市 安乗漁港
7/15～7/16	2日間	三重県志摩市 和具漁港
7/22～7/23・7/25～7/26	4日間	沖縄県南城市 海野漁港



沖縄県

LOVE BLUE 専門機関と連携した放流事業

専門機関と連携した放流事業では今年度も引き続き、釣り人の皆様に喜んで頂ける魚種を放流しております。

都道府県	魚 種	放流尾数	放 流 場 所	放 流 日
神奈川県	マダイ	95,000尾	間口漁港	7月16日
			横浜ベイサイドマリーナ	7月26日
富山県	クロダイ	100,000尾	魚津市場岸壁	8月7日
			四方漁港・水橋フィッシャリーナ・岩瀬港	8月8日
			黒部漁港	8月18日
			滑川漁港	8月19日
			国分港	8月21日
和歌山県	イサキ	72,000尾	田辺漁港	8月26日
			印南漁港	8月27日

[次ページに続く▶](#)



富山県



和歌山県

水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）

水産庁後援 内水面釣り場拡大事業（ワカサギ）は、本年度も全国からの応募受付を終了致しました。採択の結果につきましては改めてご報告致します。応募要領は水産庁から各都道府県内水面担当部局、全国内水面漁業協同組合連合会から各都道府県内水面漁業協同組合連合会等、さらに、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所から各都道府県水産試験場へ配布・周知されています。

地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する9団体（2015年度助成開始以来累計43団体）が、各地で活発に活動されています。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣り人の皆様に深く感謝します。」と、お喜びのお言葉をいただいております。



（一社）Clear Water Project



河北潟クリーン作戦実行委員会

規格・安全委員会からのお知らせ

ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ（LJWG）

規格・安全委員会（藤井治幸委員長）、LJWG（友繁淳史リーダー）では、海上保安庁の協力を得ながら、釣り人の皆様にに向けてライフジャケット着用及び日常点検の重要性を啓発しております。この度、海上保安庁と連携し、当工業会も作成に協力を行った「ウォーターセーフティガイド（釣り編）」について、釣り人の皆様にに向けた普及に協力を行うことになりました。

海上保安庁ウォーターセーフティガイド（釣り編）はこちらからご覧ください。

釣りの安全情報サイト
Water Safety Guide
JCG 海上保安庁



当工業会では、会員企業の皆様に、下記の件を依頼いたしました。

引き続き、釣りの安全対策へのご協力をお願い申し上げます。

9/29（月）ウォーターセーフティガイド（釣り編）バナー設置依頼

10/7（火）海上保安庁SNSリポスト依頼



右から：海上保安庁 永田誠一郎海難防止対策官、規格・安全委員会 藤井治幸委員長、海上保安庁 岡田桂一マリンレジャー安全対策係長、
海上保安庁 田口遥マリンレジャー対策係員、LJWG 友繁淳史リーダー

また、10/16（木）に海上保安庁安全対策課の皆様へ東京八丁堀 日本フィッシング会館にお越しいただき、当工業会と共同で釣りの安全対策に関して業界紙（釣具界・日本釣具新報・釣具新聞）の取材を受けました。この模様は各紙10/25号に掲載される予定ですので、ぜひご覧ください。

市場調査委員会からのお知らせ

市場調査委員会

市場調査委員会（岡田信義委員長）では、第29回釣用品の国内需要動向調査報告書（発刊日：2026年2月1日）の発刊に向けて、8月26日、今年度第1回目の市場調査委員会を開催いたしました。調査票回収率やデータ制度の向上などが議論され、9月16日より調査を開始いたしました。

調査票のご提出にご協力いただきました会員企業の皆様、ありがとうございました。未提出の企業様は、ご回答へのご協力、何卒宜しくお願い申し上げます。

広報・組織委員会からのお知らせ

組織強化WG

～会員向け初回無料法律相談の実施～

会員の皆様へ、初回無料にて法律相談をご利用頂けるサービスのご提供を行っております。初回無料法律相談の詳細は、別添資料をご覧ください。

海外戦略プロジェクトからのお知らせ

1 海外ビジネス情報で登録のお願い

海外戦略プロジェクト（高階義尚リーダー）では、会員の皆様に、釣用品の海外ビジネス情報をお知らせする当工業会会員専用ページを開設しております。専用ホームページを閲覧するためには、当工業会ホームページ 海外戦略プロジェクト（下記URLもしくは二次元コード）からご登録をお願い申し上げます。

<https://www.jaftma.or.jp/service/others/>

（※これまでご登録いただいていた皆様の改めてのご登録は不要です。）

お申込み後、3営業日以内に事務局よりURL及びアクセス用ID・パスワードをお送りいたします。



第52回理事会開催報告

去る令和7年9月26日(金)にオンライン会議システム&リアル開催の併用方式にて、第52回理事会が開催されましたので概要を報告いたします。

第1号議案 令和7年度 期中収支状況に関する件
第2号議案 公益目的支出計画完了を見据えて(星川 税理士)

第3号議案 委員会活動報告および協議

- (1) JAF実行委員会
- (2) LOVE BLUE委員会
- (3) 規格・安全委員会
- (4) 市場調査委員会
- (5) 広報組織委員会
 - ① 広報拡大WG
 - ② 組織強化WG
- (6) ミライミッションプロジェクト
- (7) 海外戦略プロジェクト

第4号議案 会員代表者変更及び入・退会会員に関する件

第5号議案 (一社)日本釣用品工業会 後援名義使用 許諾申請に関する件

第6号議案 事務局長 選任に関する件

第7号議案 会長・専務理事の職務執行状況報告に関する件

第8号議案 その他報告承認事項に関する件

- (1) 規定変更の方向性確認・承認
 - ① 入会金 及び 会費規則、会費施行規則
 - ② 入会申込書 及び 入会規定
 - ③ 慶弔規定
 - ④ 表彰規定
- (2) 役員選考委員会件
- (3) フィッシング会館 第2次大型修繕計画進捗件
- (4) その他 REMG 11月末 大阪開催常任理事会・理事会の件

全ての議案が承認されました。詳細は議事録にて確認されました。

会員動向

〈会員代表者変更〉

会員企業名：株式会社スナガ

新代表者：砂賀 政美 氏

前代表者：砂賀 康正 氏

〈住所変更〉

会員企業名：大同石油株式会社

旧住所：東京都北区志茂2-33-1 クレシア704

新住所：東京都北区志茂2-33-1 クレシア201



事務局だより

秋の訪れとともに、心地よい季節となつてまいりました。

このたび、本会報誌「JAFTMAニュース」は、通算100号という大きな節目を迎えることとなりました。四半世紀以上にわたり発行を続けてこられましたのは、ひとえに会員企業の皆様のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

100号の到達は、これまでの歩みを振り返るとともに、次なる一步への出発点でもあります。これからも業界に寄り添い、皆様にとって有意義な会報誌であり続けられるよう努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●釣りフェス2026の出展受付が終了し、多くの会員企業様にご出展をいただきました。厚く御礼申し上げます。

●いつも標準伝票をご利用いただきましてありがとうございます。

原材料費、運送料金等の高騰を受け10月1日納品分より、下記の通り価格を改定いたしました。何とぞご理解いただけますようお願い申し上げます。

新価格 消費税込 1箱 ￥11,000 (旧価格 消費税込 1箱 ￥9,600)

詳細は右記の二次元コードを読み取りください。



JAFTMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人
日本釣用品工業会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5F

TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <https://www.jaftma.or.jp/>

